

低い塀

空地

植栽

建物

道路

境界

パブリック

コモン

パーソナル

プライバシーと目隠しの両立



仕組み

つながり

風景

営み

愛着

安心

来訪



塩尻では、民家の塀が一般的な高さより低い傾向があります。例えば東京都内の住宅を見ると、高い塀を設えて隣家や道路との境界を明確にしている家が多いのですが、塩尻では新興住宅でも低い塀が多く見られ、住宅の周辺を囲い切ってしまうことは少ないのです。この現象は、コミュニティに対する信頼の表れであり、地域全体が防犯意識を高く保つ必要のない安全な街であることを示しているようです。ただ、低い塀だと家のなかが見えやすくなってしまったため、こうした既存の低い塀と植栽などをうまく組み合わせることで、景観を豊かにすると同時に、目隠しとしての高い役割を果たすことも可能です。